

飯島花月

いひなづま

川柳・狂歌作家、江戸庶民文化研究家、郷土史家。

文久三年九月二十一日信濃國上田生れ、昭和六年七月二十六日（八六三

一九三二）。諱茂經、字木公、通稱保作。別號上田花月、上田花月生、

佳穴、數寄通舍佳穴、花月外史、花月情史、花月漁史、花月漁夫、花

月陳人、花春子、藏春洞、雪之舎花月、雪通舎花月、雲雨亭、花月生、

飯島生、飯島花月生等。明治二十三年十九銀行取締役、上田商工會議

所會頭となる。傍ら古書等の蒐集に努め江戸庶民文化を研究、自らも

狂歌等を能くした。

著書に、自作『都々逸及俗謡集』（明治四十二年一月）白内外出版協

會）、『柳真田三代記』（昭和六年一月）白峽草・柳書刊行會、中

西書房賣捌）、『花月隨筆』（花岡百樹校訂、昭和八年九月）白富士

山房）等。

